

エコアクション21 環境経営レポート

(2023年度版)

運用期間:2023年10月～2024年9月



株式会社 **おのみち設計技術**

(2024年12月2日発行)

◇ 目 次

1. 組織の概要

2. 環境経営方針

3. 2023年度 中長期環境目標

4. 2023年度 環境活動計画

5. 環境目標の実績

6. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

7. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

1. 組織の概要

事業所名 株式会社 おのみち設計技術 [WEB <http://www.kk-onomiti.co.jp>]

代表者名 代表取締役 尾道 一虎

所在地 本 社 : 〒805-0071 福岡県北九州市八幡東区東田一丁目5番3号
大分事業所 : 〒870-0913 大分県大分市松原町3-1-11

環境管理責任者 坂田 敢

担当者・連絡先 坂田 敢 TEL093-663-6677 FAX093-663-6687
[E-mail t-sakata@kk-onomiti.co.jp]

業務内容

- ◇建設コンサルタント
 - ・道路設計
 - ・河川設計
 - ・開発許認可設計
 - ・上下水道設計
 - ・橋梁設計
 - ・各種構造物設計
 - ・プラント設備設計
 - ・施工管理
 - ・橋梁補修補強設計
 - ・土地造成設計
 - ・外構設計
- ◇調査・点検
 - ・橋梁点検
 - ・河川砂防点検
 - ・交通量調査解析
 - ・コンクリート診断
 - ・法面点検
- ◇測量
 - ・公共測量全般

許可・登録 建設コンサルタント 建04第9896号
測量業者 第(4)30791号

事業規模

設立 平成5年10月1日
資本金 2,300万円
従業員数 17名
事業年度 10月～9月
売上高 307百万円(税込)(2023年度)

認証・登録の対象範囲

◇対象事業活動
建設コンサルタント、調査・点検、測量

◇対象組織
本社
大分事業所



2. 環境経営方針

— 基本理念 —

株式会社おのみち設計技術は、地球環境問題を重要な課題としてとらえ、土木設計を主とする事業活動において、環境負荷の低減に努めるとともに積極的な環境への取り組みを推進します。

— 行動方針 —

環境経営システムを構築・運用し、環境負荷の低減を継続的に推進するために、SDGsを意識しつつ、以下の行動方針に取り組みます。

①二酸化炭素排出量の削減を推進します。

②廃棄物排出量の削減を推進します。

③水道使用量の削減を推進します。

④グリーン購入を推進します。

⑤環境に配慮した設計を推進します。

⑥環境関連法等を遵守します。

⑦地域の環境活動に積極的に参加します。

⑧エコドライブを心掛け、また公共交通機関を極力利用し、ガソリン使用量を減らします。

⑨この環境方針を全従業員に周知し、広く一般に公表します。



改定日 2023年 10月 2日

株式会社 おのみち設計技術

代表取締役 尾道 一虎

3. 2023年度 中長期環境目標

環境目標	単位	2022年度 (基準年度)	2023年度 目標	2024年度 目標	2025年度 目標
 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂ /売上高	60.4	59.8以下 (-1%)	59.2以下 (-2%)	58.6以下 (-3%)
 電力使用量の削減	kWh/売上高	59.3	58.7以下 (-1%)	58.1以下 (-2%)	57.5以下 (-3%)
 ガソリン使用量の削減	ℓ/売上高	14.2	14.1以下 (-1%)	13.9以下 (-2%)	13.8以下 (-3%)
 廃棄物総排出量(コピー用紙使用量)の削減	枚/売上高	270.8	268.1以下 (-1%)	265.4以下 (-2%)	262.7以下 (-3%)
 使用水量の削減	m ³	—	節水の徹底(弊社がテナントとして入居しているビル1Fの洗い場等はすべて共用の為、使用水量の管理はできないが、常に節水を意識して水道を使用している。)		
 グリーン購入の推進	購入 品目数	6	6以上	6以上	6以上
 環境に配慮した設計の推進	件	7	7以上	7以上	7以上
 会社周辺の清掃	実施回数	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年

- ・購入電力の二酸化炭素排出係数は九州電力の平成29年度調整後排出係数 0.463kg-CO₂/kWhを用いた。
- ・売上高は百万円単位を使用。
- ・化学物質は使用していない。

4. 2023年度 環境活動計画

1. 二酸化炭素総排出量の削減

 	取組目標	活動項目
1	電力使用量の削減	① エアコンの適温化を徹底
		② 不要な照明の消灯
		③ 外出時等のパソコン電源OFF
		④ 高効率蛍光灯の導入
2	ガソリン使用量の削減	① 省エネドライブの徹底
		② 配車計画の合理化
		③ 定期的な安全点検の実施

2. 廃棄物総排出量の削減

	取組目標	活動項目
1	コピー用紙使用量の削減	① 裏紙利用の徹底
		② ペーパーレス化の推進
2	一般廃棄物	① ゴミの分別を徹底

3. 使用水量の削減

	取組目標	活動項目
1	節水活動	① 節水活動の推進

4. グリーン購入の推進

	取組目標	活動項目
1	エコマーク商品	① 文具及び日用品はエコマーク商品を優先的に購入

5. 環境に配慮した設計の推進

	取組目標	活動項目
1	設計時の環境配慮	設計業務において環境に配慮した下記の資材・工法の提案
		① 環境負荷の少ない工法を提案
		② 多自然型(緑化工法等)を提案
		③ 再生材(リサイクル材)の活用を推奨
		④ メンテナンスの容易性・メンテナンスフリーの資材を推奨
		⑤ 長寿命化 ⑥ 修繕

6. 会社周辺の清掃

	取組目標	活動項目
1	会社周辺の清掃(1回/年)	① 八幡東区東田地区で年1~2回行われる清掃活動に参加

5. 環境目標の実績

項目	単位	2022年度	2023年度	2023年度	目標達成率	判定
		基準年度	目標	実績		
 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂ /売上高	60.4 (21,957kg-CO ₂)	59.8以下 (-1%)	64.6 (19,819kg-CO₂)	92.6%	×
 電力使用量の削減	kWh/売上高	59.3 (22,976kWh)	58.7以下 (-1%)	63.6 (19,511kWh)	92.4%	×
 ガソリン使用量の削減	ℓ/売上高	14.2 (4,879L)	14.1以下 (-1%)	15.1 (4,649L)	93.1%	×
 廃棄物総排出量(コピー用紙使用量)の削減	枚/売上高	270.8 (101,474枚)	268.1以下 (-1%)	289.5 (88,870枚)	92.6%	×
 使用水量の削減	m ³	—	節水の徹底(弊社がテナントとして入居しているビルの洗い場等はすべて共用で、使用水量の管理ができない為。)		—	—
 グリーン購入の推進	購入品目数	6	6以上	6	100.0%	○
 環境に配慮した設計の推進	—	7	7以上	8	114.3%	○
 会社周辺の清掃	実施回数	1回/年	1回/年	2	200.0%	○

- ・購入電力の二酸化炭素排出係数は九州電力の平成29年度調整後排出係数 0.463kg-CO₂/kWhを用いた。
- ・上記数値は原単位方式を用いた。
- ・化学物質は使用していない。

6. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

6-1. 二酸化炭素排出量の削減

- ①電気使用量の削減(目標:前年比 1%削減)
 - ・削減目標に対し絶対量は達成できたが、原単位方式では未達であった。
 - 特に繁忙期である3月から春先にかけて連続して未達となった。
 - 今後も節電に対する意識を高め「環境活動計画」を忠実に遂行していきたい。

- ②ガソリン使用量の削減(目標:前年比 1%削減)
 - ・社員全員のエコ走行を実践してきてはいたが、電気使用量と同じく絶対量は達成できたが、原単位方式は未達となった。業務に支障がおきない程度に意識を高めていきたい。

6-2. 廃棄物総排出量の削減

- ①コピー用紙使用量の削減(目標:前年比 1%削減)
 - ・削減目標に対し、使用枚数および原単位ともに目標を達成できなかった。
 - 例年通り裏紙の使用を徹底したが、満足いく結果をえられなかった。
 - 引き続きミスプリントを最小限に抑え、また裏紙の利用を積極的に実施し排出量の削減に努めていきたい。
- ②ゴミの分別化
 - ・ゴミはビルの管理会社が毎日収集するため、排出量は把握できていない。しかし、分別に対しては社員全員が徹底しており、今後も意識を高めていきたい。

6-3. 使用水量の削減

- ・弊社はテナントであるため、トイレ・給湯等はすべて1F共用となっており、水の使用量は把握できない。しかし、各自が節水を心掛けていた。
- 引き続き意識を高めていきたい。

6-4. グリーン購入の推進

- ・事務用品等はエコマーク商品を優先的に購入することに取り組み、目標としている6品目を上回る8品目を購入できた。引き続きエコマーク商品等を購入し環境に配慮していきたい。

6-5. 環境に配慮した設計の推進

- ・今年度の提案実績としては、橋梁関連の老朽化対策や法面の崩落対策等での安全に関する工法等の提案が多い傾向にあった。各業務の担当者は常に環境に配慮した設計を意識し発注者に対し提案を心掛け、目標7件に対し8件と目標をクリアできた。
- 今後も環境に配慮した資材・工法の提案を心掛けるべく次年度も引き続き意識を高めていきたい。

6-6. 会社周辺の清掃

- ・弊社が所在する八幡東区東田地区で年に2回実施されている地域の清掃活動には、業務に支障が範囲で参加する様に心掛けており、今年度も複数名参加することができた。
- 引き続き地域貢献できる様に参加していきたい。

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価の結果及び違反・訴訟等の有無

当社が遵守しなければならない環境関連法規等は、

○廃棄物処理法

○資源有効利用促進法 です。

この遵守状況を確認した結果、環境関連法規への違反はありませんでした。
尚、関係当局よりの違反の指摘、利益関係者からの訴訟等もありませんでした。

8. 代表者による全体の評価と見直し・指示

環境目標に対し売上高あたりで比較する原単位方式は全て未達であり、特にコピー用紙に関しては絶対量も未達と残念な結果となった。
要因として考えられることは、売上高は前年度より減少はしているものの、業務量はさほど減っていないと考えられ、業務の難易度や工期のタイミングにより結果が左右されたと理解している。また従業員を増員したことも要因として考えられ、けっして環境への取り組みを怠っていた訳ではない。
今後、新たなメンバーも含め社員全員で環境活動に取り組んでいきたい。

◇ 環境活動状況

清掃活動



裏紙専用プリンター及び用紙トレイ



社用車ハイブリット・軽車両



リサイクルトナー



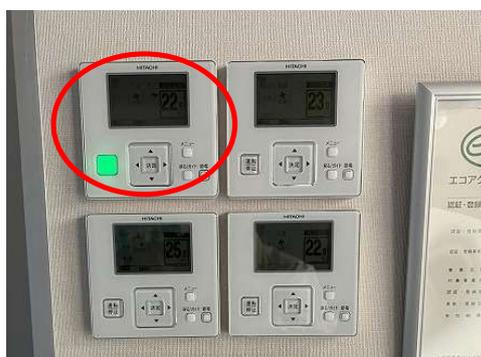
エコ仕様文房具



節電状況



営業時間外の執務室以外の電源OFF



必要最低限の空調管理



外出時、昼休み中のパソコン電源OFF

防災訓練



環境に配慮した設計
(環境負荷の少ない工法)



業務名 戸畑枝光線(牧山枝光間)道路情報表示設備設計業務委託(5-4)

発注者 北九州市建設局 道路部 街路課

工期 令和5年9月21日 ~ 令和5年12月28日

場所 福岡県北九州市戸畑区牧山海岸ほか

工法名 ポールアンカー杭基礎(抵抗板付鋼製杭基礎)工法

経緯および工法説明

当初の概略設計は他社が携わっており、従来工法である独立式のコンクリート基礎を採用していた。そのため基礎幅がかなり広くなっており地下に埋設してある電線類や下水道管等に影響すること、工事施工時の掘削範囲が広がり交通規制時間を要する設計となっていた。また大量のコンクリートを使用することにより、遠い将来ではあるが撤去の際には大量の産業廃棄物を発生させてしまうことになる。上記の課題を考慮し、極力コンクリート量を減らすことで基礎幅を最小限に抑えられる工法としてポールアンカー杭基礎工法を提案した。主な改善点として『施工スペース』『施工時間』『交通規制時間』『発生残土』『産業廃棄物』を掲げ上記の課題を大幅に改善できることを提案し採用頂いた。また、提案した工法に付け加え支柱の根本部分には錆対策である防食塗装や貼紙防止塗装を施す設計にしており、長寿命化および景観に配慮した設計ができた。経済的かつ環境負荷の少ない工法の提案で環境配慮に貢献できた。

